

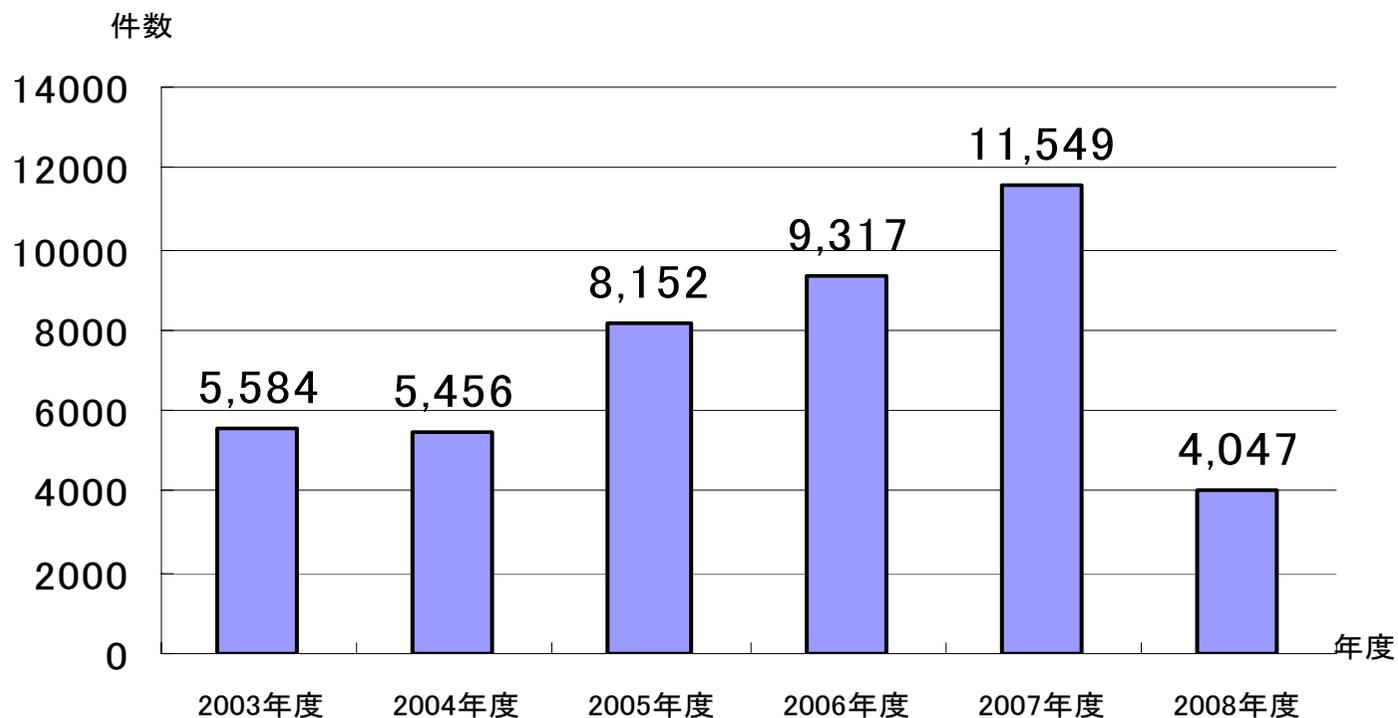
生命保険・損害保険に関する相談について

2008年10月27日

独立行政法人国民生活センター相談部

1-1.生命保険に関する相談

図1 生命保険に関する相談件数の推移

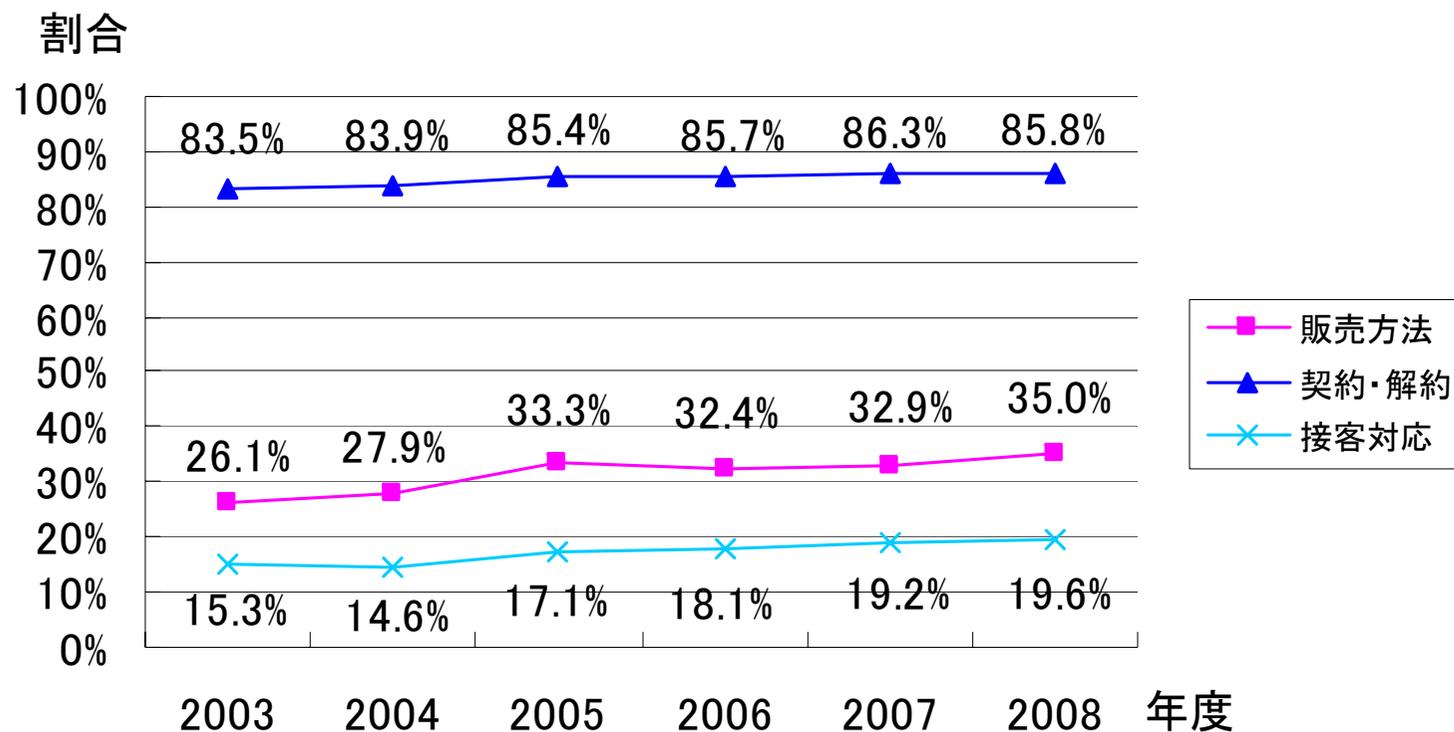


PIO-NETに2008年10月15日までの登録分。

ここでは、民間会社の生命保険を対象とした。

1-1. 生命保険に関する相談

図2 生命保険の内容別分類の割合



注) 内容別分類は複数回答項目。



1-2.生命保険に関する相談事例

事例1

長年、取引のある外交員が自宅にやって来て勧められ、契約した。自分が被保険者になっていると思っていたが、最近になって、被保険者は孫であることがわかった。契約当時、「孫の名前は借りるだけ」と言われたので、自分が被保険者だと思っていた。申込書を書いた記憶もない。解約してほしい。

(女性 70歳代 無職)



1-2.生命保険に関する相談事例

事例2

家族が知人に勧められ、それまでの保険を解約し、新たな保険を契約をした。保障の内容はほぼ同じものであった。その後、発病し死亡したため保険会社に保険金の支払いを求めたが、告知義務違反により保険金の支払いを拒否された。保険会社に再調査を求めたが回答は変わらなかった。

(男性 70歳代 無職)



1-2.生命保険に関する相談事例

事例3

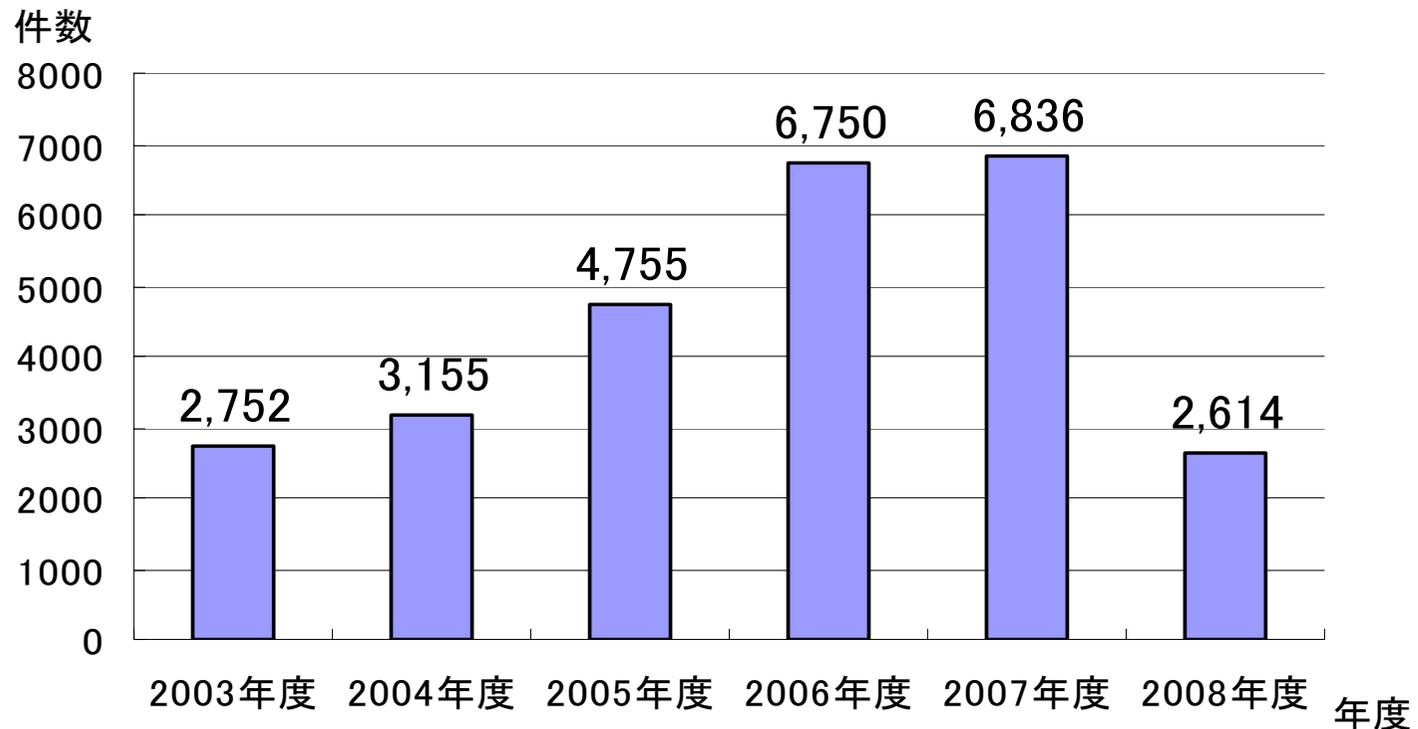
証券会社から電話があり、その後担当者が自宅に来た。「お金を一年間据え置く金融商品で、一年後から、年金がもらえる」と説明されて、お金を預けた。

書類が届き確認したら変額個人年金だった。契約時の説明と異なるので返金してほしい。

(女性 70歳代 無職)

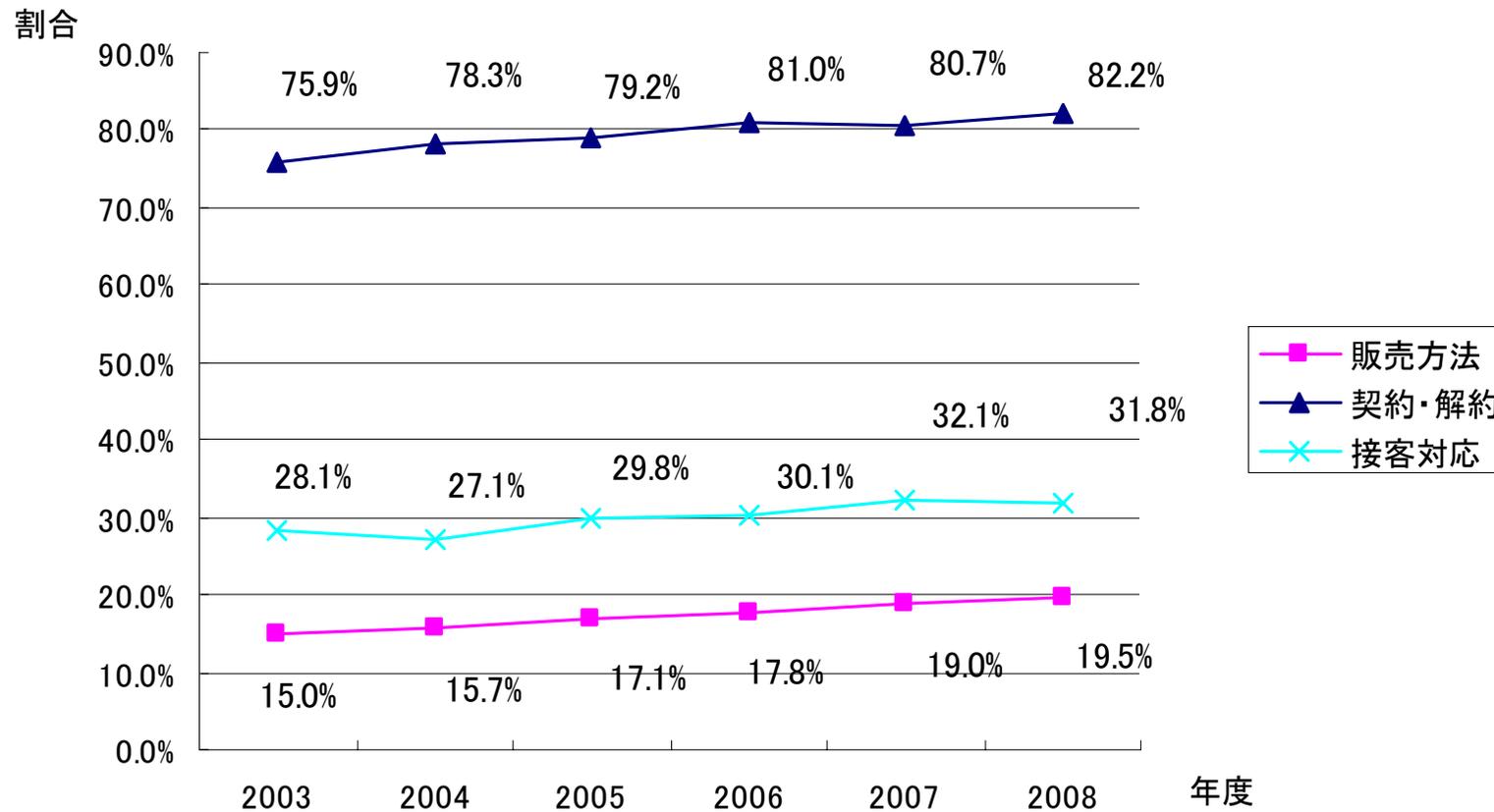
2-1. 損害保険に関する相談

図3 損害保険に関する相談件数の推移



2-1. 損害保険に関する相談

図4 損害保険の内容別分類の推移





2-2.損害保険に関する相談事例

事例1

約1年前に保険を見直した際、それまで加入していた保険を解約し、新たな保険に加入した。加入時、健康診断でひっかかったことがあると告げたが代理店は「はいがひとつでもあると加入できない」と言い、暗に虚偽の告知をするように言われた。給付金を支払ってほしい。

(男性 40歳代 給与生活者)



2-2.損害保険に関する相談事例

事例2

数年前に介護費用保険を契約した。一定期間、寝たきり状態になると保険金が払われるはずだが、保険会社の手続きがなかなか進まない。

(男性 70歳代 無職)



2-2.損害保険に関する相談事例

事例3

海外では歯科医療が高額なので、歯科医療特約をつけたほうがよいと勧められ、契約した。渡航後歯科治療を受け、保険会社に申し出たら、契約後90日間は使えないと言われた。パンフレットを確認したら、とても小さな文字で書いてあった。契約のときにそのような説明は受けていない。

(女性 50歳代 給与生活者)